

踏み跡 < My mountains >

奥那須	再び男鹿山塊へ(塩原温泉から程窪の頭)	No. 105
-----	---------------------	---------

捻挫した足首は静養とその後のトレーニングでかなり回復し、一応登山に支障がない程度になった。

しかし患部が少々太くなっているのが心配だが、もうこれ以上静養していることには耐えられないので動き出すことにした。そして、しつこくも再び男鹿山塊に喰らいつくことにした。

正月に男鹿川側から入ってかなり様子を掴むことができたので、今回は昨年、一昨年同様に塩原側から入ってみることにした。目的は、昨年の成果だった日留賀岳登頂の実績を活かして、それよりもいくらかでも奥へ入ってみること。しかし三月の会津の天候と積雪では成功を妨げる要素の方が圧倒的に多いので、過大な期待はかけないことにして出発。

昭和43年3月17日

上野発9時、第一ざおう・いいで(新潟山形行)。上野を出る頃は快晴だった空も関東平野の北端に近づくとつれて怪しげな雲を招くようになり、西那須野11時15分、小雪がちらついてきた。

11時20分発の国鉄バスで塩原古町へ。塩原古町着は12時10分。午後の塩原の町を通り抜けて桃の木峠への林道に向かう。

風が強くなり、雪の降りもかなり激しくなってきた。13時30分、藁葺きの仮小屋があったので雪宿り(こういう言葉があるのか?)をしながら昼食。

雪はぜんぜん止まず、14時30分に出発したが、「林道は工事中で通行止め」の表示で先に進めず。

とにかく確かめてみようと思い工事箇所まで行って見たが、上水管埋め込みとのことで道路はきれいに掘り込まれておりまったく歩けない状態。悲惨な気分で見返しながら今後の対応策を検討。今から表に廻って入山しなおしても夜になってしまうので、途中の畑のはずれの赤松の木立の中でキャンプすることに決定。

時は16時15分。雪も治まり箒川の谷を隔てて鶏頂山も見えてきた。

夕食は餅入りラーメン。中身は、モチ二個、サッポロラーメン一袋、シイタケ二個、チーズ一個、ダイコンは千六本、ニンジンは一ちょう切り、ピーマン、アゲイカ少々。

18時シュラフィン。明け方まで激しい風と小雪。

東風吹かばのびよ唐松天(あめ)さして



昭和43年3月18日

起床5時半、天気は打って変わって快晴。出発は7時。

一面の銀世界となった田圃の中の道を歩くのは、雪稜とは違った味わいがある。それは「静けさ」であることには間違いはないが、山の上の静けさとは違った「静けさ」である。

障子紙の上を歩くように歩を進めて行く。小さな集落をいくつか抜け、白戸の集落から日留賀岳参道に入ることができらしいことを知ったのは小さな山際の一軒家。

日が昇るにつれて、クラストの上に積もった一尺にも満たぬ新雪が輝きを発しながら融け始め、段々足にまとわりつくようになってきた。そして藪こぎ、目指すは比津羅山のコル。

ようやく荒海山が眺められるような高さに達することができたものの、時は既に昼を大幅に廻っている。ベト雪と藪とで見通しは明るくない。今日は鶏頂山がよく見える林に野営することにした。

今回の山行は、ことごとく敗色に彩られつつある。不快な気分とベト雪と藪こぎの疲れとで足を投げ出して一休みしていると、木立の中でコジュケイがチョットコイ・チョットコイ。谷間の山焼きの煙は横に広く広がり、のどかな春景色。

山焼きの煙あがらぬ日和かな

踏み跡 < My mountains >

昭和43年3月19日

ゴロスケホッホーの声で目が覚めると5時45分。天気は快晴。

今日はまだ下って帰らなければならないのだが、そう思ったら急にやる気が出てきた。

キスリングをデポして、サブザックで再度アタックしてみることにする。7時15分出発。

何とも皮肉なことに・・・、雪が融けたことも手伝ってルートはスムーズに見つかり、快調な出足。

比津羅山の北コルで日留賀岳を眺めながら昼食。(上写真) 会津国境方面はうっすらと雲がちで、明日からの天気の崩れがほぼ想像できる。

懐かしき峰峰を右に左に見やりながら足早に登り、程窪の頭には正午過ぎに到着。白一色に塗りつぶされた会津の山波、目の前の日留賀岳をびっしりと目に焼きつけ、すぐに下山。

(中写真:日留賀岳 下写真:程窪の頭)

途中でキスリングを拾って、塩原古町に16時15分帰着。

林道工事とベト雪とで誤算だらけだった今回の山行、正直言って不満足な気分がしないでもない。しかし誤算と失敗の中でも精一杯やった。

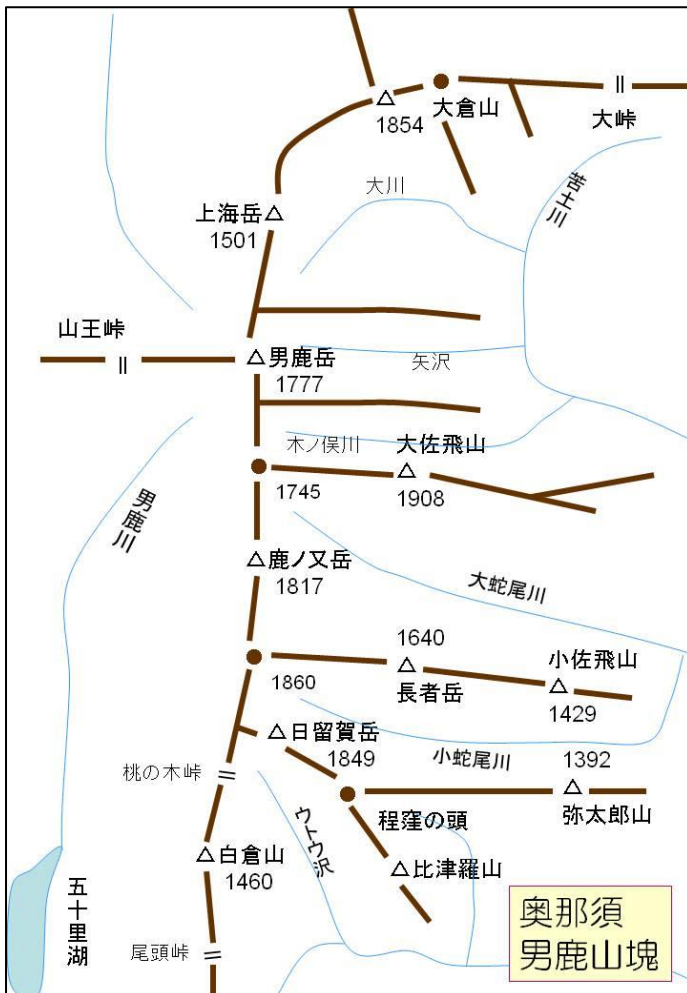
だからそれでいいんだ。駅の洗面所で鏡の中の顔を覗いてみた。

「よくやったじゃないか、顔がこんなに赤いじゃないか」

鏡の中から声がしてきた。



以上



(修正・更新:2023年12月)